

(書式 2 - 1)

遺産分割調停申立書

遺産分割調停申立書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所 御中

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

申立人 〇 〇 〇 〇 印

遺産分割調停申立事件

1 当事者の表示 別紙のとおり

2 申立の趣旨・実情 別紙のとおり

貼用印紙額 金〇〇円

予納郵便切手 金〇〇円

当事者の表示

本 籍 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

申 立 人 〇〇〇〇

生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生

本 籍 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 *s a h i C h u o*

住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

相 手 方 〇〇〇〇

生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生

本 籍 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

相 手 方 〇〇〇〇

生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生

(被相続人の表示)


本 籍 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

最後の住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

被相続人 〇〇〇〇

死亡年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日



申 立 の 趣 旨

被相続人の遺産の分割につき調停を求めます。

申 立 の 実 情

- 1 被相続人は、平成〇〇年〇〇月〇〇日に死亡し、その相続人は、相手方〇〇〇（妻）、申立人（長男）及び相手方〇〇〇〇（二男）の3名です。
- 2 被相続人の遺言は、存在しません。
- 3 被相続人の遺産は、別紙遺産目録のとおりです。
- 4 遺産の分割について、被相続人の四十九日の法要後から話し合いをしてきましたが、相手方〇〇〇〇（二男）が、遺産中の不動産も売却して、その代金を分割すべきと主張しています。この建物には、相手方〇〇〇〇（母）が住居としており、申立人としては、老後の生活を維持するために、売却をさ

けた分割を考えています。母は、調停などの裁判所の手続きに踏み切ることが躊躇していますが、申立人としては、適正な遺産分割を求めて本申立に及ぶ次第です。

添 付 書 類

除籍謄本	〇通
戸籍謄本	3通（申立人分・相手方分）
住民票	1通（被相続人の最後の住所地分）



遺 産 目 録

1 不動産

(1) ○○市○○町○○番○○

土地 ○○○平方メートル

(2) 同 所 ○○番地○○

家屋番号 ○○番○○

木造瓦屋 2 階建居宅

床 面 積 1 階○○平方メートル

2 階○○平方メートル

2 貯金および貯金

(1) ○○銀行○○支店 (○○預金) (口座番号○○○○) 金○○○○円

(2) ××銀行××支店 (××預金) (口座番号××××) 金○○○○円

(3) 定期郵便預金 (記号・番号○○○○○○○○) 金○○○○円

以上

解説

(申立の趣旨)

被相続人の遺産につき、相続人間で分割協議が出来なかったことに伴う遺産分割を求める申立です

(申立の実情)

- 1 被相続人の死亡に伴う、相続人の確定のための説明です。
- 2 被相続人の遺言の有無を明らかにするものです（被相続人が遺言を作成していますと、遺言内容が優先します）。
- 3 被相続人の遺産の範囲を確定するためのものです。
- 4 相続間において、なぜ、遺産分割の協議ができなかったかという事情の説明です。